

補助金活用によるPC導入と業務改善効果について

1. はじめに

この度の補助金を活用して業務用PC(mouse ノートパソコン A5-A5A01SR-A)を6台増設し、施設全体のICT環境を整備いたしました。これにより、職員の端末不足が解消され、主に以下の3点において大幅な業務改善が図られましたのでご報告いたします。

2. 主な改善効果

- ① 保護者との連絡体制の強化
- PCの順番待ちが解消されたことで、保護者様とのコミュニケーションがより円滑になりました。
 - レスポンスの迅速化: 欠席連絡やご相談に対し、リアルタイムでの確認と即時返信が可能になりました。
- ② 毎日の利用実績・活動報告の効率化
- 手書きや入力待ちの時間が削減され、記録業務の正確性とスピードが向上しました。
 - 即時入力による情報共有: 活動後、記憶が新しいうちに複数職員が同時入力できるようになり、記録漏れ防止とスタッフ間の迅速な情報共有が実現しました。
 - 視覚的な報告書作成: 画像データの取り込み・整理が容易になり、関係機関や保護者様向けのわかりやすい報告書作成がスムーズになりました。
- ③ 事務作業の削減とペーパーレス化
- 月末月初に集中する事務負担が軽減され、働き方の改善に繋がっています。
 - 並行作業による残業削減: 個別支援計画書の作成を複数人で同時に進められるようになり、事務時間と時間外労働が大幅に短縮されました。
 - 情報管理のデジタル化: 支援記録やマニュアルのクラウド管理が進み、ペーパーレス化の促進と過去記録の検索性が向上しました。

3. まとめ

今回のPC増設による最大の効果は、業務効率化によって職員に「時間と心のゆとり」が生まれ、児童と向き合う直接支援の時間を増やせたことです。

今後もICT環境を最大限に活用し、保護者様へのサポート強化と、児童一人ひとりに寄り添った質の高い療育の提供に努めてまいります。